

うきふしや竹の子となる人の果



かつて高倉天皇の寵愛を受け、宮中にて栄耀をほこった美女の小督は、清盛に疎まれてのち、嵯峨野にてはかない最期をとげた。そのように思えば、小督が、世の憂き節の多い人の身が、終にこのような場所で竹の子となり果てたところに、人の世のはかなさがうかがわれることよの